

# 競技注意事項

## 1.規則

本大会は、2023年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本大会申し合わせ事項によって行う。

## 2.練習について

- (1)練習は、プログラム記載の指定された場所で、日程に従い実施すること。
- (2)各練習場において、逆走及び牽引ロープ・ミニハードル・マーカーコーン等の器具を用いた練習は禁止する。

## 3.招集について

- (1)競技者招集所は、第1ゲート付近(100mスタート外側)に設ける。
- (2)競技者は招集開始時刻までに招集所で待機し、最終確認を受けること。その際係員にアスリートビブス・氏名・校名・スペイクピン・商標の点検を受け、競技者係の指示に従って移動すること。なお、招集後は待機場所を離れないこと。

トラック種目	招集開始時刻 (点呼開始)	招集完了時刻 (移動開始)	フィールド種目	招集開始時刻 (点呼開始)	招集完了時刻 (移動開始)
予選	競技開始	競技開始		競技開始	競技開始
1・2組	25分前	15分前	跳躍	50分	40分
3・4組	15分前	5分前			
準決勝	競技開始	競技開始	棒高跳	競技開始	競技開始
決勝	25分前	15分前		100分	90分
3000mSC 予選			投げ	競技開始	競技開始
1500m予選	競技開始	競技開始		50分	40分
1組	25分前	15分前		競技開始	競技開始
2組	15分前	5分前	男子ハンマー投	70分	60分
4×100mR 予選				トラック種目	
4×400mR 予選	競技開始	競技開始		競技開始	競技開始
1・2組	25分前	15分前		25分	15分
3・4組	15分前	5分前		混合	混合
				フィールド種目	
				競技開始	競技開始
				40分	30分

※混成競技の招集は、1日目、2日目の最初の種目のみ招集所で行う。2種目目以後は、混成競技者控え場所

(100mスタート側ウォーミングアップ室)で確認を受け、係の指示に従うこと。

- (3)招集完了時刻に遅れた競技者は棄権とみなし、出場を認めない。
- (4)2種目を同時に兼ねる競技者は、2種目同時出場届を招集所に第1種目の招集開始時刻までに提出し、競技の進行に支障のないようにすること。
- (5)入退場時の移動は、競技役員の指示に従い入退場すること。
- (6)リレーオーダーは、各ラウンドの第1組の招集完了時刻の1時間前までに、オーダー用紙を招集所に提出すること。
- (7)欠場する場合は、監督会議時またはその競技種目の招集開始時刻までに招集所に欠場届を提出すること。

※オーダー用紙、欠場届、2種目同時出場届は、招集所に準備している。

#### 4. 競技・競技用用具について

- (1) アスリートビブスは各種目とも、胸・背部両面に付けること。ただし跳躍競技に出場する競技者は胸または背に一枚付けるだけでもよい。
- (2) トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識を使用する。ただし、4×100mR の第1、第2、第3走者と 4×400mR の第1走者は腰ナンバー標識を使用しない。また、4×400mR の第2、第3、第4走者は右腰に腰ナンバー標識を使用する。
- (3) 男子 5000m、女子 3000m、男女 5000mW は別ビブスを使用する。別ビブスは主催者が用意する。選手は、招集時に自分のアスリートビブスを持参し、競技者係から別ビブスを受け取ること。
- (4) 男女混成競技の最終種目では、胸・背部両面にそれまでの総合順位の高い者から順番に別ビブスを付け、右腰にはレーンナンバーを付けて競技を行うこととする。
- (5) トラック競技における走路順およびフィールド競技の試技順はプログラム記載順による。ただし、準決勝・決勝の組み合わせ及びレーン順の決定は主催者で行う。なお、男子 5000m、女子 3000m、男女 5000mW については、グループスタートで実施する。
- (6) 3000m以上の種目については、競技が行われる当日の気象条件(気温・湿度)などを考えて、安全と健康管理上の判断で給水を行う場合がある。なお、この給水に使用する水、コップは主催者が用意する。
- (7) 跳躍競技のバーの上げ方は、次のとおりとする。(天候などにより変更することがある。)

種 目	練 習	1	2	3	4	5	以後1人になるまで
走高跳(男子)	1m75	1m80	1m85	1m88	1m91	1m94	3cmずつ
走高跳(女子)	1m40	1m45	1m50	1m53	1m56	1m59	3cmずつ
棒高跳(男子)	3m50	3m60	3m80	4m00	4m10	4m20	10cmずつ
	4m20						
	4m60						
棒高跳(女子)	2m20	2m20	2m30	2m40	2m50	2m60	10cmずつ 3m00からは5cmずつ
	2m70						
	3m20						

※1位と全国大会出場資格者の決定におけるバーの上げ下げは次のとおりとする。

走高跳 2cm 棒高跳 5cm

※混成競技の走高跳は2ピットを使用する。最初の高さについては男女とも混成競技審判員に競技開始調査用紙を記入・提出し協議の上決定する。その後のバーの上げ方は3cmずつとする。

※三段跳の踏切板は、男子12m、女子9mに設置する。

- (8) 競技用具は競技場備え付けのものを使用する。ただし、棒高跳のポールは個人所有のものも使用することができる。また、投でき用具については検査の上、個人の物の使用を認める。投でき用具の検査は、競技開始1時間50分前から1時間30分前までに招集場所付近で行う。なお、その投でき用具は、検査後、競技終了までは主催者で預かる。

- (9) ビデオ、音楽プレーヤー、携帯電話もしくは類似の機器等の競技場内への持ち込みを禁止する。

- (10) 危険防止のため、セパレートレーンの競走競技においては、フィニッシュライン通過後は自己レーン(曲線)に沿って進むこと。投でき競技においては、審判員の指示以外に勝手に練習しないこと。

- (11) スパイクシューズのピンは、全天候舗装用で11本以内とし、長さは 9mm以下とする。ただし、走高跳とやり投は、12mm以下とする。

・WRk 申請競技会につき、WA 競技用靴規定を適用し、適用除外とはしない。

・フィールド競技用靴ソールの最大の厚さは 20mm、三段跳は 25mmとする。

・フィールド競技用靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを越えてはならない。

(参考) WA が承認した競技用靴リストの URL

<https://www.worldathletics.org/about-iaaf/documents/technical-information>

- ・審判長が疑義を抱いた場合、競技開始前、競技中、または競技終了後に競技用靴の検査を行う場合がある。
- ・大会記録以上の記録が出た場合は、競技終了後に検査を行うことがある。
- ・競技用靴規定に違反して競技を行った場合は失格とする。

(12)フィールド競技は、主催者が用意したマーカーを置くことができる。跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側(走高跳では助走路内)に2カ所まで置くことができる。サークル内から行う投つき競技では、マーカーを1カ所だけ置くことができる。そのマーカーは、サークル直後あるいはサークルに接して置くこと。使用できるマーカーは競技役員が現地で渡し、そのマーカー以外使用してはならない。

フィールド競技で使用する炭酸マグネシウム(タンマグ)については各自で持参したもの、もしくは主催者が用意したものを使用すること。

(13)4×100mR の第2、第3、第4走者は、主催者が用意するマーカー(1個)を使用することができる。マーカーは競技者係が招集所で渡し、そのマーカー以外使用してはならない。

## 5. スタートについて

- (1)競技規則 TR16.8 により、1度の不正スタートでも失格とする。ただし、混成競技においては、不正スタートは1回のみとし、その後に不正スタートした競技者はすべて失格とする。
- (2)今大会は TR16.5.1～3 の不適切行為に加えて、腰・大腿・膝等が一瞬動いた動作も、注意にとどめる。

## 6. その他

- (1)走高跳(男女)、棒高跳(男子)において6位入賞者が6名を超える場合、全国大会出場資格者6名を決定するため、また棒高跳(女子)においては4位入賞者が4名を超える場合、全国大会出場資格者4名を決定するため、全国大会出場決定戦を行う。
- (2)大会運営に支障、問題が生じた場合には五県委員で協議して解決にあたる。抗議は、競技規則 TR8 により、結果の正式発表(正式アナウンス終了)後30分以内に、また、次のラウンドが行われる競技では15分以内に各県監督または当該競技者の監督から大会本部を通じて審判長に対して口頭で申し出ること。さらに、この裁定に納得できない場合は預託金(1万円)を添え、大会本部を通じてジュリーに文書で申し出ること。
- (3)各種目とも、上位3位までに入賞した選手は、表彰を行うので正式アナウンス終了後ただちに、(5分以内、本人が他の種目に出場の場合は代理人)エントランスホールの表彰控席に集合すること。4～8位の入賞者はエントランスホールにて賞状を受領すること。
- (4)メインスタンドでの集団応援は禁止する。その他の場所でも競技の進行の妨げとなるような応援は禁止する。また、スタンド最前列に立っての応援は観覧者の迷惑となるので禁止する。
- (5)本競技場での部旗、横断幕の掲揚については、メインスタンド、バックスタンドの最上部のみ設置してもよい。
- (6)観客席にシートやコーン、メガホンなど物を置いての場所取りは禁止する。また、コンコースはシートのみの場所取りは認めるが、通行の妨げにならないように注意すること。(テントの設置は禁止する。)
- (7)医務員は、競技場内の医務室に待機している。大会中の急病、事故については、応急処置を行うが、それ以外の責任は負わない。
- (8)記録の証明を希望する競技者は、大会本部受付に500円を添えて申し込むこと。
- (9)当日の記録は、岡山陸上競技協会ホームページに掲載する。
- (10)貴重品の管理は、各校、各自で行うこと。紛失の責任は負わない。
- (11)弁当の引き換えは、エントランスホール内で行う。
- (12)ゴミは各校、各自で持ち帰ること。コンコース内に食べ物や飲み物の残りを放置しないこと。